



始めに

このコバルト報告テンプレート (CRT) は、Responsible Minerals Initiative® (RMI®) が作成した、無料の標準報告テンプレートです。このテンプレートは鉱物の原産国と、使用される製錬・精製業者に関しサプライチェーンを通して情報を収集することを円滑にし、OECD紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンスガイダンスに沿ったデュー・ディリジェンスの実施を支援します。このテンプレートは、責任ある鉱物保証プロセス (Responsible Minerals Assurance Process) に則った監査を受ける可能性のある、新たな製錬・精製業者の特定も支援します。

CRTは、川下企業が、川下企業から製錬業者までの (製錬業者を含まない) サプライチェーンに関する情報を開示するために考案されたものです。製錬業者または精製業者の場合は、「製錬業者リスト (Smelter List)」に貴社名を記入することをお勧めします。

フォームに記入する際、セルへの記入内容が「=」または「#」で始まることはできません。

注 : (*)のある欄は必須回答項目です。

1. 貴社の正式名称を記入してください。省略形は使わないでください。このフィールドでは、他の社名やDBAなどを追加することができます。このフィールドは記入必須です。

2. 貴社の申告範囲を選択してください。申告範囲の選択肢は以下のとおりです:

- A. Company-wide (全社)
- B. Product (or List of Products) (製品 (または製品リスト))
- C. User-Defined (ユーザー定義)

「全社」の場合、申告には親会社が製造する製品又は製品素材全体が含まれます。したがって貴社が企業レベルでのコバルトデータを報告している場合は、貴社が製造する全製品に関するデータを報告することになります。

申告範囲に「製品レベル」を選択すると、製品リストのワークシートへのリンクが表示されます。この申告範囲を選択した場合は、本申告範囲に当てはまる製品のメーカー品目番号を製品リストシートのB列に記入してください。製品リストシートC列へのメーカー品目説明の記入は任意です。

申告範囲に「ユーザー定義」を選択した場合、コバルトの開示が適用される範囲を記入しなければなりません。このクラスの申告範囲は、顧客又はサプライヤーが容易に理解できるように、サプライヤーによってテキストフィールドに申告範囲を定義されなければなりません。一例として、企業は明確な情報へのリンクを提供することができます。

このフィールドは記入必須です。

3. 貴社固有の識別番号又はコードを記入してください (DUNSナンバー、VATナンバー、顧客固有番号等)。

4. 固有の識別番号又はコードの発行元を記入してください (「DUNS」「VAT」「顧客」等)。

5. 貴社の住所を省略せずに記入してください (番地、市、州/都道府県、国、郵便番号)。

6. 申告内容に関する連絡先の名前を記入してください。このフィールドは記入必須です。

7. 連絡先の電子メール・アドレスを記入してください。このフィールドが空欄の場合、フォームの実行時にエラーが発生する可能性があります。このフィールドは記入必須です。

8. 連絡先電話番号を記入してください。このフィールドは記入必須です。

9. 申告内容の回答責任者の名前を記入してください。連絡先と異なる人でも構いません。回答責任者を「同上」又は同様の表現は避けてください。このフィールドは記入必須です。

10. 回答責任者の役職を記入してください。このフィールドは記入必須です。

11. 回答責任者の電子メールアドレスを記入してください。電子メールが不可の場合、「利用不可」又は「n/a」としてください。このフィールドが空欄の場合、フォームの実行時にエラーが発生する可能性があります。このフィールドは記入必須です。

12. 回答責任者の電話番号を記入してください。このフィールドは記入必須です。

13. このテンプレートの作成日をDD-MMM-YYYY (例: 01-JAN-2012) の形式で記入してください。このフィールドは記入必須です。

14. 例えば、ファイル名を「会社名-日付.xlsx」として保存します (日付はYYYY-MM-DDで記述)。

デュー・ディリジェンスに関する6つの質問 (24~56行) に対する解説。
回答は英語 (半角) で入力してください。

これらの6つの質問は、コバルトの使用法、原産地、調達先を明確にするものです。質問は、貴社の製品中へのコバルトの使用と報告の完全性に関する情報を収集するために作られています。質問への回答は、企業情報に関するセクションで選択した「申告範囲」が対象となります。

回答を補足する必要がある場合は、備考欄に記入してください。

コバルトに関する質問1への回答が「Yes」の場合、コバルトについてすべての質問に記入し、貴社のデュー・ディリジェンスプログラム全体に関する下記のデュー・ディリジェンス関連の質問 (A~I) にも回答する必要があります。

1.この質問は、コバルトが報告要件の範囲内に当てはまるかを判定するために使用されます。この質問の回答は、微量の汚染物質や自然発生する副産物を排除することができます。 この質問では、貴社が製造する化学物質を含む製品に原材料、部品又は添加物としてコバルトが使用されているか否かを質問します。原材料、部品、添加物、研磨剤および切削工具からの不純物は本調査の範囲外です。 「Yes（はい）」「No（いいえ）」又は「Unknown（不明）」で回答してください。
「No（いいえ）」という回答に対して、コメント欄に具体的な内容の記入を要求する企業もあります。
2.これは、製品または複数の製品に含まれるコバルトの一部が、紛争地域および高リスク地域（CAHRA）を原産としているかの申告です。そのような製錬業者が独立した第三者から監査されているかどうかに関わらず、サプライチェーン上の製錬業者がCAHRAから調達している場合は、この質問に対する回答は「Yes（はい）」になります。 「Yes（はい）」「No（いいえ）」「Unknown（不明）」又は「DRC又は周辺国のみ」で回答してください。「Yes（はい）」の場合は、具体的に備考欄に記入してください。「Unknown（不明）」と回答することも可能です。
3.これは、製品に含まれるコバルトがリサイクル又はスクラップ資源を由来としているかどうかを示す申告です。 「Yes（はい）」「No（いいえ）」又は「Unknown（不明）」で回答してください。 「Yes（はい）」とは、コバルトの全てをリサイクル又はスクラップ資源を由来としていることを意味します。「No（いいえ）」とは、原材料の一部はリサイクル又はスクラップ起源から調達していないことを意味します。「Unknown（不明）」とは、原材料の全てがリサイクル又はスクラップ起源から調達されているかどうかを貴社が把握していないことを意味します。このフィールドは記入必須です。
4.企業が、申告範囲内の製品に含まれるコバルトを供給すると合理的と考えられる全ての直接サプライヤーからの開示情報を受け取ったかを企業が判定する申告です。回答は、以下の中から選択してください。 - 100% - 90%超 - 75%超 - 50%超 - 50%以下 - なし
5.この質問は、サプライヤーがこの申告の対象となるコバルトを供給する製錬業者を全て特定したと考えられる理由があるかどうかを検証します。この質問への回答は、「Yes（はい）」「No（いいえ）」又は「Unknown（不明）」で、コメントを伴う場合もあります（例：製錬業者のリスト）。このフィールドは記入必須です。
6.この質問は、申告範囲内の製品に含まれるあらゆるコバルトを供給していると特定された全ての製錬業者が、この申告で報告されていることを検証します。この質問の回答は、「Yes（はい）」、「No（いいえ）」又は「Unknown（不明）」です（例：製錬業者のリスト）。この質問は、質問1の回答が「Yes（はい）」の金属については必須となります。
質問A～Iの記入方法について（行63～79）。質問1が「Yes（はい）」の金属は、A.からI.までの質問は必須となります。 英語のみで回答してください。
「OECD紛争地域及び高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンスガイダンス」は、「デュー・ディリジェンス」を「企業が人権を尊重し、紛争に寄与しないことを確実にする、継続的、自主的、かつ状況に応じたプロセス」と定義しています。詳細情報は http://www.responsiblemineralsinitiative.org/training-and-resources/conflict-affected-and-high-risk-areas/ を参照してください。 次の質問A～Iは貴社のコバルト調達のデュー・ディリジェンス活動を評価するために設計されています。これらの質問に対する回答は、貴社全体の取組みを対象としており、企業情報に関するセクションで選定した「申告範囲」に限定するものではありません。
A.これは、企業が公に利用可能なコバルト調達方針を持っているかどうかを明らかにする申告です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。「Yes（はい）」の場合は、貴社は質問の備考欄にURLを記入してください。 このフィールドは記入必須です。
B.これは、貴社のコバルト調達方針が、OECDデューディリジェンスガイダンスのANNEX IIモデル指針の全てのリスクおよび最悪の形態の児童労働に対処しているかどうかを明らかにする申告です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。 このフィールドは記入必須です。 ANNEX IIモデル・ポリシーは下記参照：http://www.oecd.org/daf/inv/mne/OECD-Due-Diligence-Guidance-Minerals-Edition3.pdf
C.貴社が、コバルト調達のデューディリジェンス対策を実施しているかを判定するための質問です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。この申告は、企業のデューディリジェンス対策の詳細を提供することを意図したのではなく、企業がデューディリジェンス対策を実施しているかの申告です。受け入れ可能なデューディリジェンス対策は、依頼元又はサプライヤーによって決定されます。 デューディリジェンス対策の例：責任あるコバルトサプライチェーンへの貴社の期待をサプライヤーへ伝え、（可能な場合）契約に結び付けること、サプライチェーンにおけるリスクの特定と評価、特定されたリスクに対する戦略の策定と実施等。これらのデューディリジェンス対策例は国際的に認められたOECDガイダンスに含まれるガイドラインに整合する。 このフィールドは記入必須です。
D.貴社が、貴社の直接サプライヤーに対して、OECDデュー・ディリジェンスガイダンスに沿ったデュー・ディリジェンスを実施することを要求しているかどうかを判定するための申告です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。コメントは、質問の備考欄に記入してください。このフィールドは記入必須です。

E.貴社が、貴社の直接サプライヤーに対して、独立した第三者の検証を受けた製錬業者から調達することを要求しているかを判定するための申告です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。コメントは質問の備考欄に記入してください。このフィールドは記入必須です。
F.貴社が貴社の直接サプライヤーに対し、コバルトサプライチェーンを通じてデュー・ディリジェンスの実施を要求しているかを判定する申告です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。コメントは質問の備考欄に記入してください。このフィールドは記入必須です。 「Annex IIリスク」は下記参照。http://www.oecd.org/daf/inv/mne/OECD-Due-Diligence-Guidance-Minerals-Edition3.pdf
G.貴社が、貴社のサプライヤーに対し、コバルト報告テンプレートを記入することを依頼しているかを判定するための質問です。受け入れ可能な回答は以下の通りです。情報収集に使用されるフォーマットの提供等さらなる要求を受ける場合があります。「Yes, using other format（はい、ほかのフォーマットを使用）」と回答する場合、備考欄に追加情報を入力してください。 - Yes, Cobalt Reporting Template（はい、コバルト報告テンプレート） - Yes, using other format (describe)（はい、他のフォーマットを使用（記述する）） - No（いいえ） このフィールドは記入必須です。
H.「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。備考欄で、追加情報を入力することができます。 例えば： 「第三者監査」-独立した第三者が実施したサプライヤー現地監査 「文書審査のみ」-サプライヤーが提出した独立した第三者および/又は貴社の職員が実施した記録や文書のレビュー 「内部監査」-貴社が実施した貴社サプライヤーへの現地監査 このフィールドは記入必須です。
I.これは、企業の検証プロセスに是正措置管理が含まれているかを判定するための質問です。「Yes（はい）」又は「No（いいえ）」で回答してください。コメントは、質問の備考欄に記入してください。このフィールドは記入必須です。
Smelter List（製錬業者リスト）シートの記入に関する解説。 回答は英語（半角）で入力してください。 注：(*)のある欄は必須項目です。 このテンプレートは、Smelter Look-up（製錬業者検索）を使用して製錬業者を識別することができます。Smelter Look-Up機能を利用するには、左から右へ順にB列とC列を記入する必要があります。 金属/製錬業者/国の組み合わせごとに別々の行を使用します。 1. 製錬業者識別番号の入力列—製錬業者識別番号が分かる場合は、その番号をA列に入力してください（B、C、E、F、G、I、およびJは自動入力されます）。A列は自動入力されません。 2. 金属(*) — ドロップダウンメニューを使用して、製錬業者情報を入力する該当金属を選択してください。 3. Smelter Look-up（製錬業者検索）(*) — ドロップダウンから選択します。製錬業者リストは、テンプレート発行日時点で把握している製錬業者名です。製錬業者がリストにない場合、「Smelter not listed（製錬業者がリストに含まれていない）」を選択してください。これを選択すると、製錬業者名をD列に記入できるようになります。製錬業者の名前や所在地が分からない場合は、「Smelter not yet identified（製錬業者がまだ特定されていない）」を選択してください。これを選択すると、D列とE列には「Unknown（不明）」と自動入力されます。 4. 製錬業者名(1) — C列で「Smelter not listed（製錬業者がリストに含まれていない）」を選択した場合、製錬業者名を記入してください。C列で製錬業者名を選択した場合には、この欄は自動入力されます。このフィールドは記入必須です。 5. 製錬業者所在地：国(*) — C列で製錬業者名を選択した場合には、この欄は自動入力されます。C列で「Smelter Not Listed（製錬業者がリストに含まれていない）」を選択した場合、ドロップダウンメニューの中から、製錬業者の所在する国を選択してください。このフィールドは入力必須です。 6. 製錬業者識別番号 — これは確立された製錬・精製業者の識別システムに従い、製錬・精製業者に割り当てられた固有の識別番号です。一つの精錬・精製業者を表記するために、複数の名前や別名が使用されることが予想されるため、複数の名前や別名を単一の「製錬業者識別番号（Smelter ID）」に紐づけることができます。 7. 製錬業者識別番号の発行元 — これはF列に入力された製錬業者識別番号の発行元です。ドロップダウンボックスを使ってC列に製錬業者名を選択すると、この欄は自動入力されます。 8. 製錬業者所在地：番地 — 製錬業者の所在する番地を記入してください。 9. 製錬業者所在地：市 — 製錬業者の所在する市を記入してください。 10. 製錬業者所在地：州／県／省（該当する場合のみ回答） — 製錬業者の所在する州又は県を記入してください。 11. 製錬業者連絡先担当者名 — コバルト報告テンプレート(CRT)は、企業がOECD紛争地域および高リスク地域からの鉱物のサプライチェーンに関するデュー・ディリジェンスガイダンスに沿ったデュー・ディリジェンスを実施するため、企業のサプライチェーンを構成する企業の間を流通します。 個人情報保護法のある国で使用される可能性がある場合は、関連法規に抵触する可能性がありますので「製錬業者連絡先担当者名」及び「製錬業者連絡先電子メール」の記載については、これらの情報を上記の企業間で共有することについて担当者の同意を得るなどの対応を行うことを推奨します。 この情報を共有する許可を得た場合、貴社が連絡をとっている製錬業者担当者名を記入してください。
12. 製錬業者連絡先電子メール — 上記製錬施設連絡先担当者のメールアドレスを記入してください。 例：John.Smith@SmelterXXX.com この欄を記入する前に、「製錬業者連絡先担当者名」の説明を確認してください。

13. 鉱山名—この欄で企業は、製錬業者が使用している実際の鉱山名を記入できます。判明している場合は実際の鉱山名を記入してください。製錬業者が原料の100%をリサイクルまたはスクラップ資源を由来とする場合は、鉱山名の代わりに「Recycled（リサイクル）」または「Scrap（スクラップ）」と記入し、P列に「Yes（はい）」と回答してください。
14. 鉱山の場所（国名）—自由形式のテキスト欄で、企業は製錬業者が使用している鉱山の場所を記載できます。鉱山が所在する国名を記入してください。原産国が不明の場合は「Unknown（不明）」とお答えください。製錬業者が原料の100%をリサイクルまたはスクラップ資源を由来とする場合は、原産国の代わりに「Recycled（リサイクル業者）」または「Scrap（スクラップサプライヤー）」と記入してください。この欄は任意です。
15. 製錬業者がリサイクル又はスクラップ資源からの製錬プロセスの投入量を単独で取得するかどうかを示します。この質問は任意です。回答は、以下の中から選択してください。 - Yes（はい） - No（いいえ） - Unknown（不明）
16. 備考 — 製錬業者に関するコメントがあれば備考欄に記述してください。例：製錬業者はYYY社に買収されている
チェッカーシート（Checker）は、テンプレート内の必須情報がすべて記入されていることを確認するために使います。リアルタイムで更新され、テンプレート使用中いつでも確認できます。記入完了を確認するために使います。 このシートを使い、必須項目がすべて記入されているかを確認してください（記入済みの項目は緑色になります）。すべて記入されていない場合、赤の項目を探してC列の「注釈」を確認し、必要な作業をしてください。D列のURLを使って該当項目に直接アクセスして記入することもできます。
利用規約
コバルト報告テンプレート（総称して「ツール」）を含むがこれに限定されない、RBA製錬業者リスト（以下「リスト」）およびプログラムテンプレートおよびツール、ならびにここに提供されるあらゆる情報は、情報提供の目的のみに使用されるものであり、ここに明示される日付時点の最新版です。リスト又はツールに不正確な点や脱落があった場合、それがいかなるものであれ、デラウェア州の非株式会社であるResponsible Business Alliance（以下「RBA」）の責任ではありません。リストの全部もしくは一部、あるいはツールを使用するかどうか、またどのように使用するかの決断は、使用者単独の自由裁量によって行われるものです。リスト又はツールの利用に際しては、事前に使用者自身の法律顧問とともに当該リスト又はツールの精査を行うことが望まれます。リスト又はツールには法的助言は一切含まれていません。リスト又はツールの利用は自由意思によるものです。
RBAは、リスト又はツールに関していかなる表明も保証も行いません。リスト及びツールは「現状有姿のまま」かつ「提供可能な限度」で提供されています。RBAは、市販性、権利不侵害、品質、タイトル、特定目的との適合、完全性、正確性を含むが、必ずしもこれらに限定されない、明示的であれ黙示的であれ、もしくはその他の方法であれ、取引もしくは慣習から生じるものであれ、いかなる性質のものであろうと、一切の保証を行わないものとします。
適用される法律で認められる最大限の範囲内で、RBAは、不法行為、契約、規則、もしくはその他の状況下で生じたものであるかどうかにかかわらず、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、リスト又はツールを利用したこと起因する特別損害、付帯損害、懲罰的損害、直接損害、間接損害もしくは偶発的損害、又は収益や利益の損失に関し、何らの責任も負いません。
リストやツールへのアクセス及びその利用を考慮して、使用者はここに、(a) RBA、ならびにその役員、理事、代理人、被雇用者、任意行為者、代表者、契約者、継承者、譲受人に対し、リストやツールによる、もしくはそれらを利用したことによる、又はそこから生じたり、生じた可能性がある、あるいは使用者がRBA、ならびにその役員、理事、代理人、被雇用者、任意行為者、代表者、契約者、継承者、譲受人に対してそのように主張する、いかなる請求、訴訟、損失、請願、損害、判決、押収、強制執行についても一切の責任を問わず、(b) RBA、ならびにその役員、理事、代理人、被雇用者、任意行為者、代表者、契約者、継承者、譲受人に対し、使用者がリスト又はツールを利用したことによる、いかなる請求、訴訟、損失、請願、損害、判決、押収、強制執行に関しても免責の保証を与え、擁護し、責任を免除することに同意するものとします。
これらの利用規約の規定条項に、無効とすべき部分、もしくは適用される法律の下で執行不可能な部分が存在する場合、当該箇所は、当該規定条項のそれ以外の部分、もしくは本利用規約のそれ以外の規定条項にいかなる影響も与えることなく、そのような無効性や実行不可能性の範囲においてのみ無効とみなされるものとします。
リストもしくはツールへのアクセス、又はその利用によって、またそれを考慮して、使用者は前述の事項に同意するものとします。
© 2020 Responsible Minerals Initiative. All rights reserved.
Return to declaration tab
Revision 2.0 October 30, 2019